

事業者向け 児童発達支援自己評価表

令和5年度

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・2つの訓練室や相談室を、利用者の年齢や障害特性に合わせて、活動部屋を分けることができるため、各利用者は指定基準より広めに、余裕をもって利用して頂いていると考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・指定基準を上回って配置している。 ・指定人員を考慮してシフトを組んでいる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			・活動内容により訓練室を変える、朝の会でその日のスケジュールを伝える絵のボードを設置、集中力を妨げないよう室内をシンプルに保つことで生活環境を工夫している。 ・事業所内の玄関や相談室前に段差はあるが、対応可能な児童のみ契約しているため、バリアーとの認識は不要と考える。 ・トイレ内は、段差を無くし、広めの空間を確保することで介助しやすくしてある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			・2つの訓練室や相談室を、利用者の年齢や障害特性に合わせて、活動部屋を分けることができるため、各利用者は指定基準より広めに、余裕をもって利用して頂いていると考えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			・日々の勤務中、勤務後に職員が積極的に報告をしてくれており、常にPDCAサイクルを実践している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・毎年度2月頃に保護者向けに評価表を配布し、評価を実施している。集計後、結果を見ながら次年度の改善策を検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・毎年度、事業所内でも職員を対象に自己評価を実施している。保護者からの評価表の結果と自己評価の結果は、それぞれ集計し、事業所のホームページとすてっぷなごやに掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		・児童発達支援・放課後等デイサービスでは、第三者評価は義務化されておらず、実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・毎月、虐待防止、障害特性、災害など、勤務に直結するテーマの研修を実施している。 ・動画や資料による研修を毎月行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			・職員からの聴き取りをした上で、児発管がアセスメントを行っている。アセスメント後は、保護者面談の機会を設け、利用児童や保護者のニーズを把握した上で、個別支援計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・療育センター等で実施された発達検査結果を、保護者の方から頂くようお願いし、非常勤職員とも共有している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	71%		29%	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤・非常勤の全職員が関わり、活動プログラムを編成している。</li> <li>・職員の特技などを活かす案を出してもらい、プログラムに取り入れている。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動、SST、外出行事、手先を使った取組み等、様々な分野の取組を実践している。</li> <li>・毎月の行事予定でバリエーション豊かなプログラムが計画されている。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの利用児童のニーズに合わせた個別プログラムと集団プログラムを取り入れた計画を作成している。</li> <li>・半年に一度以上保護者と面談をして計画書を作成している。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供前に、職員全員で打合せをし、当日の予定、プログラムの内容、チーム分け、その他利用児童の体調や連絡事項を共有している。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供時間後は、一部職員が送迎に出るため、職員一斉に打合せを行うことは不可能であるが、その日のプログラムの振り返り、利用児童についての連絡事項、ヒヤリハット等、必ずその日の内に、職員の伝達やメール、電話を通して、施設長に報告している。</li> <li>・伝達連絡用ボードも活用している。</li> <li>・朝礼、昼礼時に打ち合わせを行っている。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日必ず、支援の内容、体調、気づいたことについて記録を取り、事業所に残し、保護者にも連絡帳として提供している。他職員と話し合うべき大事なことについては、児発管と施設長に報告、相談をしている。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低半年ごとにモニタリングを行い、利用児童の状況に応じて、見直しをしている。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管か施設長が出席している。</li> </ul>
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園や小学校、児童相談所、相談員事務所と積極的に関わっている。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当しない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当しない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校等への送迎時に情報共有をし、協力して利用児童の支援ができるよう努めている。</li> </ul>
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校等への送迎時に情報共有をし、協力して利用児童の支援ができるよう努めている。</li> </ul>	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央療育センターの相談員さんとの連携を積極的に行っている。</li> </ul>	

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	86%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等と予め約束をして活動が出来る機会を設けることは難しいが、公園や外出行事の際、遊具の譲り合い、偶々出くわした子ども達と一緒に遊んだりといった機会がある。弊事業所の利用児童から周囲の大人や子どもに率先して挨拶をし、関わるよう、職員が促している。</li> <li>・地域の公園や買い物のプログラムを通して、障がいのない人との交流をしている。</li> </ul>	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	57%	43%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弊事業所の休業日の開催であったり、保護者面談などがあり、予定が合わず、参加できていない。</li> </ul>	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日には連絡帳を通して、保護者に利用児の様子について報告している。連絡帳では伝えづらいことや、気になることについては、送迎時に保護者に直接、または電話をしてタイムリーに伝えるようにしている。</li> </ul>	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各利用児童に対する対応の仕方で、職員間でのPDCAサイクルし、家庭でも有効と思われる支援方法については、面談時に保護者に伝えるようにしている。</li> </ul>	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に、保護者に丁寧に説明している。</li> </ul>
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書の内容については、保護者に説明をし、同意を得た上で、同意の印鑑と記名をして頂いている。</li> </ul>
		34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年ごとに各保護者と面談を行っている。その他、特に児童発達支援児童の保護者には、連絡帳やメールでのやり取りを丁寧にしており、保護者の相談先の一つであるよう、最大限に努めている。</li> </ul>
		35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年4月に予定をしている。</li> <li>・コロナ渦で開催が難しかったが、4月に行う予定。</li> </ul>
		36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールや電話で、開所時間外でも対応し、相談や申し入れに対して迅速に対応している。(施設長)</li> </ul>
		37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月予定表を紙で配布し、HPにも掲載している。</li> <li>・不定期ではあるが、写真を掲載したおたよりを発行している。</li> <li>・内容によって、個々にお手紙やメールで発信している。</li> </ul>
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面での活動写真には、個人が特定できないよう、顔にスタンプを付ける、各保護者には、その保護者の利用児童のみが写っている写真のみ提供している。</li> </ul>	
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各利用児童や保護者についての理解を深め、心を許してお付き合い頂けるよう、意思疎通や情報伝達に配慮するよう努めている。</li> </ul>	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	43%	43%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護もあり難しい。</li> </ul>
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市の条例に従い、毎月、火災や地震を想定した避難訓練をしている。</li> <li>・毎月のプログラムに取り入れ、継続的に訓練している。</li> </ul>

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%			s
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			・契約時に保護者と確認をし、必要な情報については事務所内で職員が見やすい場所に掲示している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・動画や資料を使って研修が行われている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%			